

西大和つうしん

2020年12月号

No.459



青空に映える屏風岩の紅葉《2020.11.15》

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

西大和つうしん

第 459 号 (2020 年 12 月号)

【目次】

12 月度山行計画.....	1
1 月度山行計画.....	2
12・1 月度カレンダー.....	3
山行・行事等参加メモ.....	4
山行報告	
・自主山行 《10/30-31》 台高山脈 大杉谷～日出ヶ岳・大台ヶ原（今中）.....	5
・自主山行 《11/4-5》 奥高野山地 生石高原・嶽山（杉村・野路）.....	6
・例会山行 《11/8》 室生山地 三郎ヶ岳（勝尾）.....	7
・例会山行 《11/15》 室生山地 住塚山～国見山（船江）.....	8

12 月 度 山 行 計 画

～低山ながら山頂の岩場から 360 度のパノラマが楽しめます！！～

体験山行対象／例会山行 1 布引山地 **《錫杖ヶ岳》** 676m

【日 程】 12 月 6 日（日）（L 野路）

※ 参加者はリーダーまで申込み（11 月 24 日締切り）

【集 合】 上牧町役場前駐車場 7:00

（一般参加者は、6:45 王寺駅の集合です）

【コース】 北畑登山口～柚之木～錫杖ヶ岳～下之垣内登山口

※ 歩行時間：約 4 時間（休憩含まず） ※ 歩行距離：約 5 km

※ 本山行は、体験山行の対象です。お知り合いや友人で山行に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、積極的に誘ってください。

～岩稜歩きを楽しみ、黄金色のススキの群生を眺めましょう～

例会山行 2 室生山地 **《古光山》** 953m

【日 程】 12 月 13 日（日）（L 藤井）

※ 参加者はリーダーまで申込み（11 月 29 日締切り）

【集 合】 上牧町役場前駐車場 7:00

【コース】 大峠～古光山～フタカワ～後古光山～長尾峠～亀山峠～曾爾高原

※ 歩行時間：約 4 時間（休憩含まず）

1 月 度 山 行 計 画

～古刹宝山寺を訪ね、生駒山から新春の展望を楽しみましょう！！～

新春山行

例会山行1 生駒山地 《生駒山》 642m

【日 程】1月10日（日）（L島崎）

※ 参加者はリーダーまで申込み（12月27日締切り）

【集 合】近鉄王寺駅（生駒線）8:30

【交 通】近鉄王寺 8:42⇒9:06 生駒

【コース】生駒駅～宝山寺～生駒山～暗峠～府民の森～枚岡駅

※ 歩行時間：約4時間（休憩含まず） ※ 歩行距離：約8.3km

※ コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止も有り得ます。

～比良山地最高峰 武奈ヶ岳の雪景色を楽しみましょう！！～

例会山行2 比良山地 《武奈ヶ岳》 1,214m

【日 程】1月24日（日）（L野路）

※ 参加者はリーダーまで申込み（1月10日締切り）

【集 合】JR 王寺駅 6:50

【交 通】王寺 6:58⇒7:39 大阪 7:45⇒8:35 堅田／バス 8:50⇒9:35 坊村

【コース】坊村～御殿山～武奈ヶ岳～八雲ヶ原～北比良峠～大山口～イン谷口～比良駅

※ 歩行時間：約6時間15分（休憩含まず）：雪山なのでハードです。

※ 歩行距離：約16km

※ 積雪が多い時

① 武奈ヶ岳から坊村へピストン（約5時間）、坊村から堅田へタクシー

② 御殿山から坊村へ引き返す、坊村発のバス 15:46

西大和山の会 カレンダー

12月			2021年1月		
1	火	県連理事会	1	金	
2	水		2	土	
3	木		3	日	
4	金		4	月	
5	土		5	火	県連理事会
6	日	体験山行・例会山行1《錫杖ヶ岳》(野路)	6	水	
7	月		7	木	
8	火		8	金	
9	水		9	土	
10	木		10	日	例会山行1《新春山行・生駒山》(島崎)
11	金		11	月	
12	土		12	火	
13	日	例会山行2《古光山》(藤井)	13	水	
14	月	西大和つうしん原稿締切	14	木	
15	火		15	金	
16	水		16	土	
17	木		17	日	
18	金		18	月	
19	土		19	火	
20	日	12月度室内例会	20	水	
21	月		21	木	
22	火		22	金	
23	水		23	土	
24	木		24	日	例会山行2《武奈ヶ岳》(野路)
25	金		25	月	西大和つうしん原稿締切
26	土		26	火	
27	日		27	水	
28	月		28	木	
29	火		29	金	
30	水		30	土	
31	木		31	日	

山行報告

自主山行 台高山脈 大杉谷～日出ヶ岳 1,694.9m・大台ヶ原

【日 程】10月30日(金)～31日(土)

【参加者】L野路・SL島崎・橋本・杉森・岩田・今中(6名)

【交 通】近鉄新王寺 6:59⇒12:00 登山センター

◆10月30日(金) 晴れ

【コ-タイム】宮川第三発電所(12:13)～千尋の滝(13:50)～猪ヶ淵(14:47)～平等岳(15:40)～桃ノ木小屋(16:05)

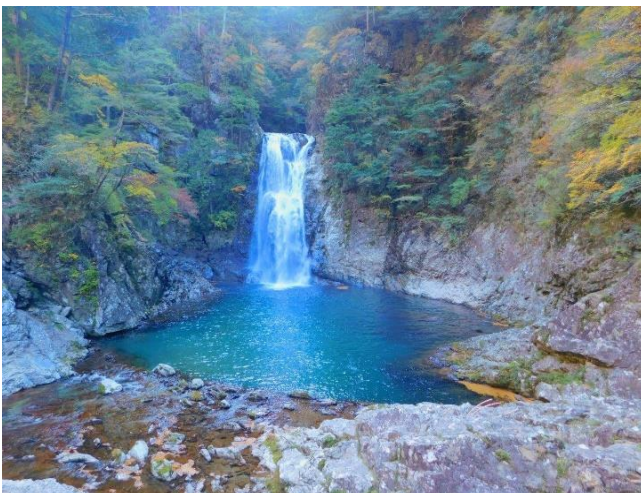
大杉谷～日出ヶ岳・大台ヶ原を歩いてきました。宮川第三発電所から桃ノ木小屋を目指して歩きます。岩を切り抜いた崖や岩場を歩きますが、鎖があり道は整備されています。今年7月～8月にかけて、熊の目撃情報があり、また谷沿いで高度感もあり怖々と歩いて行きます。お天気に恵まれて滝の絶景にテンション高めになり、大杉谷ブルーに癒されました。猪ヶ淵で集合写真を撮って桃ノ木小屋に到着。夕食はカツカレー、楽しくおしゃべりした後、早めの就寝で明日の日出ヶ岳に体力を備えます。金曜日で宿泊者少なめ静かな夜のようにでした。(記録：今中一美)



◆10月31日(土) 晴れ

【コ-タイム】桃ノ木小屋(6:45)～七釜滝(7:08)～堂倉滝(9:40)～堂倉小屋(10:20)～日出ヶ岳(12:45/13:30)～大台ヶ原駐車場(14:05)

快晴、雲一つなしです。前半は谷沿いを眺めながら歩いて行きます。隠れ滝から堂倉滝にかけて綺麗な紅葉が見られました。透明の透き通ったブルーに映る紅葉がまた綺麗です。堂倉吊り橋で小休止をとって、日出ヶ岳目指して岩場から登山道に変わります。結構きつめを歩いて日出ヶ岳に近づくと、たくさんのシャクナゲがありました。長い階段を登って頂上に到着。頂上の紅葉はほぼ終わっていましたが、晴天で熊野灘が見える眺望は最高でした。頂上でバスの時間までお茶タイム。賑やかな2日間でした。(記録：今中一美)



自主山行 奥高野山地 生石高原(生石ヶ峰) 870m・嶽山 850m

【日 程】 11月4日(水)～5日(木)

【参加者】 L 島崎・杉村・野路(3名)

◆11月4日(水) 晴れ 生石ヶ峰

【J-タイム】 生石駐車場(9:30)～小川宮八幡神社登山口(9:38)～生石高原(11:22/12:05)～
生石ヶ峰(12:35/45)～生石神社(13:00/10)～小川宮登山口(14:50)～駐車場(15:00)

今回は奥深い和歌山紀北の山、生石ヶ峰と大塔山系の嶽山への紅葉山行へ。嶽山への足慣らしとして？ススキ原が広がる生石高原を歩く。小川八幡神社登山口から川に沿って車道を暫く歩き、左の急坂道へと入る。所々人家もあり、柚子の木が多く見られハイキングの様相でもあった。斜度のある舗装路が長く続き、シラカシの大木が立つ不動辻に着く。この辺りから山道となるが、昔の村だと思われる石垣、田んぼ跡などの面影が残っていた。暫く進むと植林帯の道となる。殆ど会う人もなく、林道を横切りながら樹林帯を上っていく。高原近くでは別荘や国民宿舎



の荒れ果てた姿があった。それを抜けると視野が明るく大きく開けて生石高原へとなる。展望台に寄り、ススキの穂に日が当たって一面銀色に輝きなびいていた。高原を一望できる。

少し寒かったがトレッキングを楽しみながら生石ヶ峰へ。山頂からは紀伊水道、護摩壇山、紀泉の山並みと360度の大パノラマの遠望が出来た。山頂から暫く下り大岩の下を通過して生石神社(しょうせきじんじゃ)に出る。神社の前の林道を下ると車道に出会う。車道を30分ぐらい歩いた後、うっそうとした古道へ入る。時々車道を横切ってジグザグの急坂を下る。桜並木を抜け八幡神社に着いた。心地よい疲れで明日の嶽山へ備える。(記：杉村好子)

◆11月5日(木) 晴れ 嶽山

【J-タイム】 駐車場(7:30)～徒渉地点(8:20/40)～登山口(8:55)～烏帽子分岐(10:50)～
烏帽子岩手前(12:00)～烏帽子岩分岐(13:15/35)～渡渉地点(15:20)

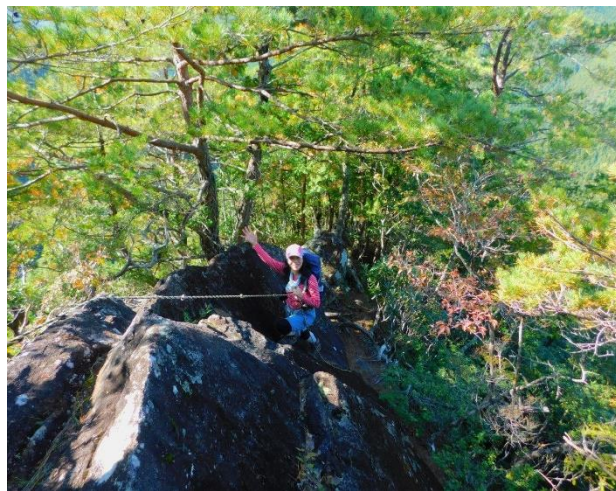
水かさがあり、靴下を脱いで裸足で徒渉するが、昨日からの冷え込みで水も冷たい!! 登山道は廃屋から左へ進む予定だったが、鉄板の橋も朽ち果てていて渡るのが危ない。そのため、右へ行ったら廃屋の後ろを右へ左へと探すが見つからず、地図から判断して沢横の尾根を登ることにした。

テープも所々にあり、ここに間違いのない・・・と判断して、登って行くがかなりの急登である。登ったところで、左の方からの道と合流した。シダの急登を過ぎると岩場が出てくる。ロープがあり、馬の背と続くがやはり急登である。暫く進むと「烏帽子岩直登と巻き道の分岐」に到着。「烏帽子岩は危険」の表示はあったが「この先進めない!!」とは書いて無く、前方に赤いテープも有りそのまま進む。テープがなくなった・・・暫く行くと大きな直登に近い岩場が出てきた。所々に木も生えているので、安全なコースを選んで登るが難度が高い!! そして、少し進むとまたも垂直に近い大きな岩が立ちはだかる。手足を掛ける所が何処にもなく、巻き道もないのでここで引き返すことにした。先ほど登った岩場は危険なので、他に安全に降りる所がないか探すが、何処にもなく一枚岩の所を下ることになった。かなり危険!!と思っていたが、下をみると思っていたよりも距離が近く、少し安心した。慎重に下り、無事

に降りることができた。

烏帽子岩との分岐まで戻って来たが、13時を過ぎていたので、今から嶽山の山頂を目指す
と遅くなるので、残念だがここから来た道を下山することにした。下山は登った時のシダの
ある急登ではなく、合流した道を進むはずが、またもテープが途中からなくなり、朝とは一
つ違う沢にテープがあるのを見つけ、沢沿いに下山する。下山口は朝とは10mぐらい離れた
ところに着いた。

帰って再度確認すると、登山口は「廃屋を左に朽ちた鉄板の橋を渡って行く」とあるよう
だ。また「烏帽子岩分岐は巻き道を進むと、蟻の戸渡りや馬の背があり、嶽山に着く」よう
だ。テープが幾つもあり、迷いやすい道であったが、面白いコースであった。3人とも資料
を持っていたが、途中確認を怠ったことを反省した。 (記：野路政子)



公開山行／例会山行 1 室生山地 三郎ヶ岳 879m

【日 程】11月8日(日) 晴れ時々曇り

【参加者】L 島崎・勝尾・杉村・橋本・野路・佐々木・玉野・(会員7名・一般1名 合計
8名)

【コース】仏隆寺P(9:00)～登山口(9:40)～高城山(10:15)～三郎ヶ岳(11:00/50)～
磨崖仏群(12:05)～石割峠(12:35)～登山口(13:15)～仏隆寺P(13:45)

公開山行に1名の方の参加があり、仏隆寺Pで
それぞれ自己紹介をして出発する。仏隆寺の長い
階段を上り、寺門の前から紅葉に染まった長閑な
山里の林道を登山口に向かう。

今朝まで降っていた雨で登山道は濡れている。
杉の幹に触れるとじっとり水を含んだ樹皮から水
が滲み出てくる。濡れた落ち葉や木の根で滑ら
ないよう注意を払いながら進み、笹に覆われた杉の
植林帯や、紅葉の美しい広葉樹林の中を登る。山頂
に近づくとつれ傾斜もきつくなってきた。まずは
高城山に到着してホッと一息。次は30分程登れば
目指す三郎ヶ岳だ。山頂で出会った男性2人は奈
良ハイクの方で、山行の下見に来られたとか。写真撮影をお願いした後下山して行かれた。



ここで早めの食事を取る。期待していた 360 度の展望は、どんよりとした雲の中、東に曾爾高原の山々が見え、遠く南に幾重にも連なって見える大峰の山々は水墨画を見ているようだった。

下りは山頂直下に激下りあり、そのすぐ下の岩壁には苔むした磨崖仏が数体祀られていた。そこから少し下ると分岐があり、石割峠方面へ下る。石割峠から伊勢本街道を通り、日本の原風景と呼ばれる諸木野の集落に到る。諸木野の集落は綺麗に石積された石垣が印象的だった。諸木野から最初の登山口に戻り同じ林道を仏隆寺Pへと戻った。

林道歩きが長いコースだが、ちょうど紅葉の綺麗な季節で山里歩きも楽しめ、山中では激下りあり、磨崖仏群ありと変化もあって、久しぶりに参加した山行でしたが、楽しい山行が出来ました。
(記：勝尾栄美子)



例会山行2 室生山地 住塚山 1,009m～国見山 1,016m

【日 程】 11月15日(日) 晴れ

【参加者】 L 杉森・S L 野路・藤井・島崎・杉村・橋本・船江・永井・岩田・玉野(10名)

【コースタイム】 屏風岩公苑駐車場(8:35)～住塚山(9:20)～ゼニヤタワ(9:45)～
国見山(10:15/11:00 昼食)～クマタワ峠(11:38)～分岐(12:10)～
屏風岩一ノ峰(13:30)～屏風岩公苑駐車場(14:05)

スタート地点の屏風岩公苑。目の前に広がる圧倒的な断崖絶壁に、まず感動した。柱状節理の壁は鮮やかな紅葉や緑に彩られ、万葉屏風絵巻のような美しさである。公苑には多くのサクラがあり、春には賑わいそうな場所だ。

住塚山、国見山ともに山頂からは、曾爾高原をはじめ、俱留尊山、高見山、三峰山など室生の山々が一望できる大展望のご褒美。何度となく繰り返すアップダウンも、変化に富んでいて楽しめた。予定していた斉浄坊の滝は「東海自然歩道補修工事のため通行不可」の看板があり、今回は諦めることになった。一ノ峰は屏風岩断崖の際にあり、屏風岩公苑から見上げた絶壁の際に立っているのかと思うと、不思議な緊張と優越感を感じた。(記：船江照代)



西大和つうしん

第 459 号 (2020 年 12 月号)

2020 年 11 月 30 日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 杉森英二

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32

窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<https://nishiyamatoyama.sakura.ne.jp>